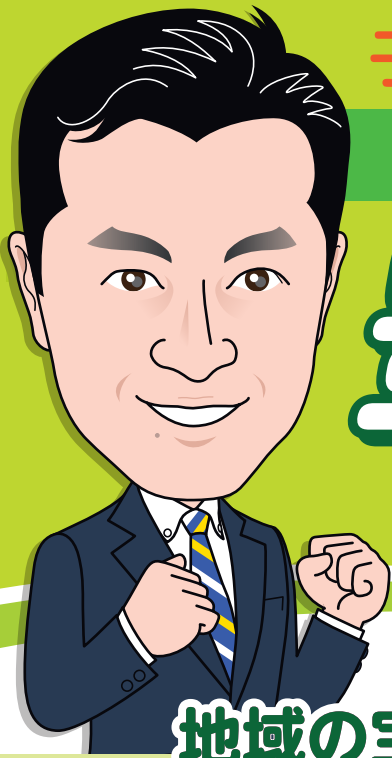




子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.24

地域の宝である子どもたちを支えていきたい!

今回のレターでは、令和8年6月定例会での一般質問(4項目)について、ご紹介させていただきますので、ご覧いただけましたら幸いです。

一般質問 中郷児童クラブの整備について

発言趣意

中郷小学校の児童たちは、1、2年生が中郷保育園、3年生以上が中郷体育館に分かれて児童クラブを利用しているが、「中郷小学校の近くに児童クラブの整備を求める」といった市民の多くの声を受けているので、中郷地区での児童クラブの整備を求めるために質問する。

質問事項①

共働き世帯が増加する中、兄弟姉妹が別々の児童クラブを利用することにより、保護者には二重の送迎負担が生じているが、中郷児童クラブの運営形態による保護者の負担を、本市はどのように考えているのか。

部長の答弁

中郷小学校から中郷体育館までの距離は約1キロと長い上に、途中に踏切もあることから、低学年児童の安全を考慮して中郷体育館は3年生以上、中郷保育園は1、2年生が利用するように振り分けたが、この学年毎の振り分けによって2か所の児童クラブへの送迎(現在は13世帯)が必要となるケースが生じており、保護者の皆さんにはご負担をおかけしている。

質問事項②

本市の児童クラブは、小学校内にあったり小学校の近くにあるのに対し、中郷児童クラブだけ2つに分かれ小学校からも遠い場所にある。「どうか中郷小学校の近くに中郷児童クラブをつくって欲しい」との多くの市民の声を受け、「中郷児童クラブの整備について」要望するが、本市の考えや今後の見通しを確認する。

部長の答弁(一部)

本市の児童クラブの小学校からの移動距離は、中郷小学校の両クラブが最も長くなっているため、児童がより安全に児童クラブを利用することができ、保護者の負担軽減にもつながる運用を考えていく必要があると認識している。児童の安全安心および利便性の観点からは、在籍する小学校内での児童クラブ開設が最も望ましいと考えているが、中郷小学校には余裕教室がなく現時点での活用が難しい状況にある。このような中で、こども家庭庁と文部科学省が連携して取りまとめた「放課後児童対策パッケージ 2026」では、タイムシェアを含めた既存の学校施設の活用が推奨されていることから、まず児童クラブの学校施設利用について対応策の協議を進めながら、保護者の送迎負担軽減に向けた運用の検証を進めていきたい。



質問事項③

令和3年に開催された「公立保育園の統廃合の方向性について」の市民説明会の中で、昭和55年に建築された中郷保育園、および平成17年に建築された中郷西保育園を統合して新しい園を整備するとの計画(令和13年度以降)が示された。また、令和12年度までの本市の「地区別6歳未満人口推計」では、20%以上減少する地区もある中で、中郷地区だけはマイナス1%とほぼ減少しないことも示されたが、この先の中郷保育園の統廃合計画等を踏まえて、「中郷児童クラブの整備について」今から検討するよう要望する。

市長の答弁(一部)

今回議員からの質問を受け、兄弟姉妹が別々の児童クラブに通っている等、現状は良くないということを改めて理解したので対応していくが、中郷児童クラブの整備には時間等もかかるので、まずは教育委員会等と協議をしながら、この問題の解決に取り組んでいきたい。

私の想い

保護者の送迎負担軽減、および市内児童クラブの送迎格差の是正が、今回の一般質問の目的の一つではあるが、何より地域の子子どもたちが安全に児童クラブへ通えることに加え、子どもたちが安心して過ごせる児童クラブの環境整備が重要と考えているため、引き続き「地域の宝である子どもたち」を支えるために提言等を行っていく。



一般質問 通学安全かばんの推奨について

発言趣意

市民の方々から「小学校のランドセルを安全かばんに変更して欲しい」との要望を受けたことに加え、市長への提案メールにおいても毎年のように要望があるので、軽くて丈夫な上に安価な通学安全かばんを推奨するために質問をする。

質問事項①

近年の高温化等による児童の健康および安全の確保、物価上昇における保護者負担の軽減を考慮して、市内の小学校については、通学安全かばんに統一することを推奨する。



教育長の答弁(一部)

本市ではランドセルや安全かばんについて統一したルールを定めず、各学校の判断に委ねてきたが、議員の提案趣旨もよく理解するので、小学校長会やPTA連合会との情報交換をする場において周知した上で、今後のあり方についても、共に考える機会を持ちたいと考えている。

一般質問 結婚を望む方への支援について

参画趣意

本市の人口減少の速度を緩めるためには、「結婚を望む方への支援」等に対して、今まで以上に踏み込む必要があるのではと考える一方で、婚活事業は成果が限定的との指摘もあるなど、どこまで予算を投じて本市が婚活に関わるべきかとの論点も重要になる。そこで、今回は市長就任後3年間の婚活事業について確認した上で、人口減少時代を乗り越えるための方針等について議論を深めるために質問する。

質問事項①

人口減少時代には、自治体間で人口を奪い合うより地域圏全体で若者定着を図る方が合理的であると考え。そんな中で、広域結婚支援事業は、本市にとって将来性のある事業だと考えるが、この事業に対する市長の意気込みを伺う。

市長の答弁(一部)

近隣市町の首長の皆さんと「結婚できるって良いものだ」との一致があったことで、今回の事業に結びついたが、今年の10月に各市町から参加者を募りながら、広域婚活イベントとして開催をしようと思っている。イベントを通じて得られた企画運営等のノウハウや課題も見えてくると思うので、今後それぞれの自治体で行う結婚支援事業に生かしてもらえと思っている。

以下、6月13日の福井新聞の記事を引用させていただきます。

豊田耕一議員は、米澤光治市長就任後3年間の婚活支援事業の成果をたじた。理事者は、民間事業者が主催する「出会いの場」への支援や県と連携したマッチングアプリの利用助成などに取り組んだと説明。3年間で21件のイベントを行い、延べ参加者406人、マッチング数133件とし、市が把握する範囲で参加者から1組が成婚し、2組が婚約しており「一定の成果が出始めている」とした。

私の想い

結婚や出産を推奨することについては、一部の市民から批判を受けることもあるが、子どもたちの将来も考えた持続可能な行政運営の実現のためには、人口減少の速度をいかに緩めることが重要になると考える。今後も人口減少時代を乗り越えるための方策等について、政治家の責務として提言等を行っていく。

一般質問 外国人労働者の受入れについて

参画趣意

少子高齢化により産業活動を担う労働力人口の不足が深刻化している日本社会では、外国人材の雇用が進んでいる。本市においても、飲食業や宿泊業、介護や製造業などで人手不足の深刻化により、外国人労働者の受入れが進んでいるが、今後、育成就労制度が施行されると受入れはさらに進み、外国人労働者への依存度が上がっていくことが予測されるため、本市における外国人労働者の受入れの現状と課題等について質問する。

質問事項①

外国人労働者の受入れを企業任せにしないことが重要だと考えるが、本市においても生活支援、日本語支援、相談窓口、医療、防災、子育てなど行政の関与が必要で、外国人支援というより地域共生だと考えている。このように、外国人労働者を地域の仲間として支えていくのか。

市長の答弁(一部)

今のところ生活支援や日本語支援、医療や防災等については、企業との連携の中でやれているが、今後は行政が関与せざるを得ない部分が出てくるかもしれない。議員の言う外国人労働者との共生が目標になるかと思うが、本市の企業が外国人労働者を必要としているのに、外国人労働者から「敦賀市は住みにくい」と忌避されることがないように、共生という意味においても、地域の仲間として外国籍の方が、不安なく本市で生活できるような社会にしていきたい。



編集後記

今回のレターを書かせていただいた6月議会の最終日(6月23日)には、敦賀市区長連合会から提出された「議員定数削減を求める請願」の採決が行われましたが、結果は賛成6名に対して反対15名で不採択となりました。私は一貫して「議員定数は削減すべき」と主張していますが、昨今のデジタル化等による業務の効率化が図られている点等も踏まえて、次の選挙までの議員定数の削減は必須と考えています。そんな中で、今回の一般質問では、本市で働く外国人労働者の相談に応じたことがきっかけで、「外国人労働者の受入れについて」本市の考え方を確認させていただき、本市が人口減少時代を乗り越えるための「結婚を望む方への支援について」の質問に加え、地域の宝である子どもたちを、地域の皆さんとしっかり支えていきたいとの思いで質問に臨みました。4つの質問項目は直ぐに成果を出すことはできないかもしれませんが、引き続き20年先の本市の将来を見据えて、本市の諸課題と真摯に向き合ってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



豊田こういちレター Vol.24

2026年6月28日発行
発行責任：市民クラブ
編集責任者：豊田耕一

YouTubeにて豊田耕一の想いを配信中!



よろしければ、
豊田耕一オフィシャルサイトも
是非ご覧ください!
政策をはじめ、動画、ブログなど日々更新中!



子どもたちが、
故郷で健やかに
育っていくために!

敦賀市議会議員
豊田 耕一

〒914-0045
敦賀市古田刈66-803-2
inforu.toyoda@gmail.com

